

報道関係者各位

2025年11月18日  
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ：サステナビリティ・住まい

## 野村不動産グループ 5年連続ウッドデザイン賞受賞

— 木材活用による社会的価値創出が評価、本年度は「つなぐ森から、生まれた家具」「プライド参宮橋」が受賞 —

### 本ニュースリリースのポイント

1. 木の良さや価値を活かした取組みを評価する、今年で創設11年目の「ウッドデザイン賞」
2. 野村不動産グループの2プロジェクトが受賞：  
「つなぐ森から、生まれた家具」（ソーシャルデザイン部門）…針葉樹未利用材を用いた家具  
「プライド参宮橋」（集合住宅/ライフスタイルデザイン部門）…木材を構造材に採用した都心分譲集合住宅

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：新井 聡、以下「当社」）は、「ウッドデザイン賞2025」（一般社団法人 日本ウッドデザイン協会主催）において、当社グループの「つなぐ森から、生まれた家具」、「プライド参宮橋」の2プロジェクトが受賞したことをお知らせいたします。本受賞により、当社グループの「ウッドデザイン賞」受賞は、2021年以降5年連続となりました。



【「つなぐ森から、生まれた家具」写真】



【「プライド参宮橋」竣工写真】

### 1. 「ウッドデザイン賞」について

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザイン力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。「ライフスタイルデザイン部門」、「ハートフルデザイン部門」、「ソーシャルデザイン部門」の3つの部門で構成され、2025年度は206点を選出されました。

#### <ウッドデザイン賞2025 実施概要>

主催：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会  
後援：農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省  
応募対象分野：建築・空間分野、技術・建材分野、プロダクツ分野、  
コミュニケーション分野、調査・研究分野  
公式ホームページ：<https://www.wooddesign.jp/>



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2025

## 2. 当社グループの受賞プロジェクトについて

### ①「つなぐ森から、生まれた家具」(ソーシャルデザイン部門)

受賞：野村不動産ホールディングス株式会社、株式会社芦沢啓治建築設計事務所、カリモク家具株式会社

野村不動産グループが東京都・奥多摩町に保有し、森林経営から木材活用を担う「つなぐ森」の針葉樹末利用材を用いた家具※<sup>1</sup>。カリモク家具株式会社及び株式会社芦沢啓治建築設計事務所と共同で開発。気候変動問題を背景に、これまでバイオマス燃料として燃やされていた小径・節有材を使い、炭素貯蔵量や木材の利用価値向上を通じた社会インパクトの創出と野村不動産グループの企業価値向上を目指す。

※1:野村不動産グループが開発する物件等にて実装。今後、一般販売による社会インパクトの創出を視野に入れる予定



【「つなぐ森から、生まれた家具」イメージ】

### <「つなぐ森」について>

野村不動産グループが東京・奥多摩町に保有する約130haの森林。

当社グループの主要な事業領域である東京都で森を保有することで、木材生産(森づくり)や木材加工において地域の森林事業者や製材加工会社等の事業者含む他企業と連携し、木材生産、一次製材、二次製材、メーカーなど、木材利用の川上から川下までの一貫したサプライチェーンを構築した上で、当社グループ事業における森林の利活用を開始しています。詳細は「森を、つなぐ」東京プロジェクトページをご覧ください。

URL：[https://www.minnade-tsunagu.com/mori\\_wo\\_tsunagu/](https://www.minnade-tsunagu.com/mori_wo_tsunagu/)

### 【概要】

所在	東京都西多摩郡奥多摩町小丹波
権利	土地所有権：奥多摩町 土地地上権・立木：森をつなぐ合同会社 (野村不動産ホールディングス株式会社 100%子会社)
面積	実測 約 130ha (登記簿 約 79ha)
その他	秩父多摩甲斐国立公園内、SGEC/PEFC FM 認証、環境省「自然共生サイト」認定

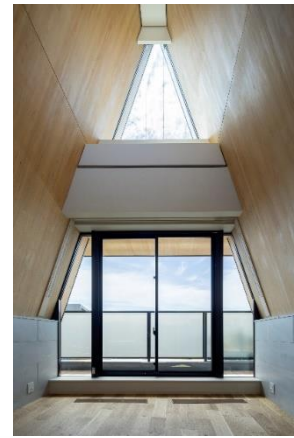


【「つなぐ森」所在地】

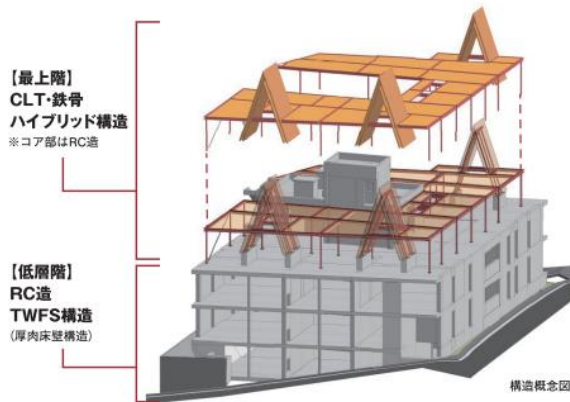
## ②「プライド参宮橋」(集合住宅/ライフスタイルデザイン部門)

受賞：大成建設株式会社、野村不動産株式会社

明治神宮の杜を望む参宮橋の高台に計画された、本格的に木材を構造材に採用した全 19 戸の都心分譲集合住宅。地下 2 階～地上 3 階は、十分な剛性と強度を有し、遮音性に優れた RC 造（厚肉床壁構造）とし、最上階 4 階のコア部を除く主要構造部に、大成建設株式会社が独自に開発した木質構造「CLT・鉄骨ハイブリッド構造」を採用。RC や木材の利点を適材適所で使い分け、集合住宅に求められる高い性能を確保し、魅力的な住空間と環境貢献も同時に実現した。



【外観/最上階専有部】



CLT・鉄骨ハイブリッド構造 施工中



完成後

【構造概念図と施工完了前後の様子】

### 【物件概要】

所在地	東京都渋谷区代々木四丁目 13 番 1 (地番)
竣工年月	2024 年 8 月
総戸数	19 戸
設計	大成建設株式会社一級建築士事務所
施工	大成建設株式会社東京支店

## 【ご参考①】

### 野村不動産グループの 2030 年までのマテリアリティと SDGs について

野村不動産グループ マテリアリティ		
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)
DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連の SDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

## 【ご参考②】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

### ＜経営計画における 3 カ年計画の事業方針＞

<b>基本方針</b>	グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。	
<b>事業方針</b>	<b>基幹事業</b>	分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。
	<b>注力領域</b>	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。
		1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
		2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
		3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化
		4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
5 戦略投資（M&A）による成長の加速		

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、今後 3 カ年で注力する事業方針を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。